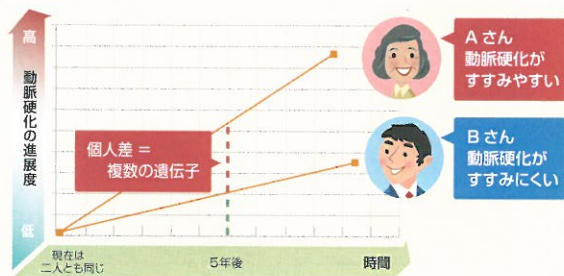


サインポストの 遺伝子検査の特徴 SIGNPOST GENETIC SCREENING

● あなたは動脈硬化がすすみやすい？

食事や運動に気をつけていても、生活習慣病がすすみやすい人と、気をつけていなくてもすすみにくい人がいます。例えば、メタボリックシンドロームを指摘されたAさんとBさんが、同じ食事や運動を行ったとしても、いくつかの遺伝子の違いによって、将来、動脈硬化のすすみや糖尿病の起こりやすさに違いがあることがわかってきました。



● 一つの遺伝子で 全て決定するわけではない

一般的な個人体質は、複数の遺伝子(SNP)と生活習慣の影響を受けていることが明らかになってきました。従って、一つの遺伝子だけで個人の体質を評価することはできません。

● 大阪大学医学部の研究成果

遺伝子の働きについては、人種によって大きな差があることが明らかになっています。

株式会社サインポストが開発する本検査は、大阪大学医学部の研究成果を中心として、多数の日本人データに基づいて評価しています。

また、測定する遺伝子(SNP)は、科学的根拠が明らかになっており、極めて重要度が高い遺伝子(SNP)だけを採用しています。



お知らせ

遺伝子は一生涯変わらない情報です。その情報はID番号管理で大切に保管されるため、再度、採血や試料採取することなく、心筋梗塞や脳梗塞などのリスク判定を受けることも可能です。今後、新しい研究結果が確認され次第、新たな判定項目を追加していく予定です。ご自身の生まれ持った遺伝子情報を健康維持・増進にお役立てください。

詳しくはこちら

株式会社サインポスト

〒541-0045 大阪市中央区道修町2-2-5 イヌイ第二ビル4F

0120-534-310

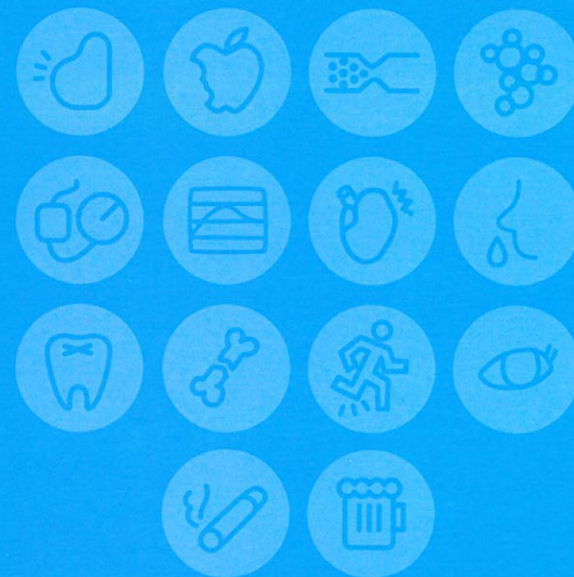
遺伝子検査 サインポスト

検索

<https://www.signpostcorp.com/>

大阪大学医学部
から生まれた

遺伝子 検査



signpost
Directing you to health

健康診断を
毎年受診しているけれど

一生変わらない
遺伝子検査って
興味あるなあ。



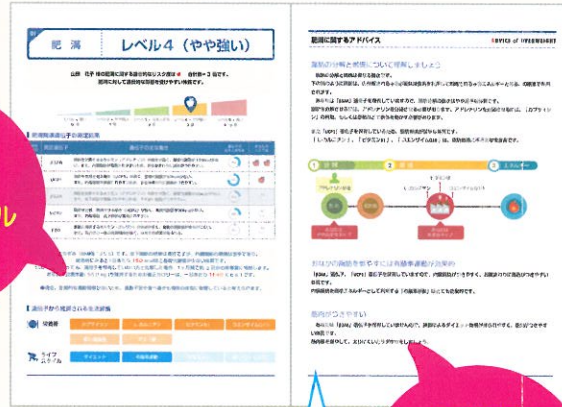
「ただで
検査って
どんなことを
するんだろう？
何がわかるん
だろう？」

遺伝子検査の流れ

- ① 医療施設で検査の説明を受けます
- ② 遺伝子検査の申込書と問診表を記入します
- ③ 約2mlの採血または綿棒による口腔内細胞の採取をします
(医療機関によって異なります)
- ④ 約1カ月後に医療機関より検査結果が届きます



保有遺伝子からみた 各項目の遺伝的なリスク度を表示



該当する
栄養素・
ライフスタイル
をご提案

(血栓アドバイス結果：一例)

カフェインと糖質に注意

「PAI-1」遺伝子を保有しており、血液を固まらせる悪玉ホルモン(PAI-1)が増えやすい体質です。「カフェイン」は少量であれば健康維持に良いですが、摂り過ぎ(コーヒーの場合/1日あたり4杯以上)はPAI-1の血中濃度を高めてしまいます。また「糖質の摂りすぎ」も中性脂肪を高め、PAI-1の濃度を高めてしまいますので注意が必要です。

この検査結果から
血栓でPAI-1遺伝子を保有していたAさん

営業で1日にコーヒーを何杯も飲んでいました。お砂糖やミルクは太るので控えていましたが、Aさんにとってカフェインの摂りすぎも、悪玉ホルモン(PAI-1)の血中濃度を高めてしまうものだったのです。

検査して
良かった!

Aさん



「遺伝子検査」とは、このように潜在的な目に見えないリスク(危険性)を知ることにより、健康を維持するために必要な栄養素やライフスタイルを提案することが出来る「道しるべ」なのです。

他にも
このようなページが
ございます!

推奨される&
注意すべき
ライフスタイル
一覧

ライフスタイルを
「推奨されるもの」
「注意すべきもの」に
わけて見開き2ページを
使用して表示しています。



推奨される
栄養素一覧

遺伝的リスクを補うための
栄養素の一覧を
具体的な食品イラストを
使用して表示しております。

※該当なしの項目にはグレーの
網掛けで表示しています。